

教育相談

本人の努力不足やしつけの問題と誤解されがちですが、自分の力だけではどうすることもできず、困っている子どもたちがいます。本人がどう困っているのか、まわりの大人が気づき、理解し、その子にあった支援をすることで生活や学習の困難さは軽減されます。気になることや心配なことがあったら、まずは相談してみましょう。在籍校の担任の先生や特別支援教育コーディネーターが相談に応じます。

<p>気持ちと対人関係の困り感</p> <p>友だちとのトラブルが多い。</p> <p>周囲とのコミュニケーションにおいて、摩擦が生じやすい状態にあります。</p> 	<p>学習と行動の困り感 コミュニケーションの困り感</p> <p>言葉がはっきりしない。先生や友だちの話が理解しづらい。</p> <p>自分の考えを伝えることや、相手の意図を読み取ることが困難な状態です。</p> 
<p>すぐにカッとなり、イライラしやすい。</p> <p>感情のコントロールが難しく、衝動的な反応が出やすい傾向があります。</p> 	<p>読み書きが極端に苦手</p> <p>学習の基礎となる読み書きにおいて、著しい困難さを感じています。</p> 
<p>卒業後のことが心配</p> <p>現在の生活だけでなく、将来の見通しに対して、強い不安を抱えています。</p> 	<p>姿勢が崩れがちで、いつもどこか動いている。</p> <p>じっとしていることが難しく、身体のコントロールに課題があります。</p> 

市内すべての小中学校には、保護者との相談窓口になったり、校内の関係者や校外の関係機関との連絡・調整を行ったりする特別支援教育コーディネーターという役割の先生がいます。

地域の関係機関・職員

教育分野の関係機関

学校教育における支援者



専門的支援スタッフ



医療・福祉分野の関係機関

医療機関



福祉・相談機関



関係機関とは、子どもの支援について相談できる教育・医療・福祉などの機関のことです。